

【奥尻地域】

地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み

●水産加工業と流通対策

(1) 水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）		関連資料	
地域 MV における取組の位置付け	未利用資源や新たな土産品の開発と仮称地場産業開発センター等の設立 【地域資源を活かした新たな産業の創出】（新規事業） 未利用資源となっている海藻類の養殖を行い、企業との連携により新たなお土産品の開発に取り組んだ。また、海藻類を利活用してブルーカーボンへの取り組みを行った。	取組場所	【取組の様子】 お土産品の開発（ひやま漁協青年部奥尻支部長） 
		奥尻・赤石沖	
現状における取組実施の背景	海水温の変化などの影響から島周辺の漁業が変わり、本来主漁業としていたイカ・ホッケの不漁から漁家安定のために新たな産業の創出が必要とされ、未利用資源となっている海藻類の養殖から新たなお土産品の開発やブルーカーボンクレジットにより新たな産業の創出を目指している。		
取組により期待する効果	養殖による漁業生産の他にも土産品の販売による収益や漁業体験の一つとしても活用でき観光振興へも期待される。また、ブルーカーボンの取り組みからクレジット化が図られると新たな産業の創出になることや脱炭素先行地域である当町にとっては脱炭素の取り組みの推進にもつながる。		
(2) 取組内容・実施体制（Do）			
取組内容、方法、手順、実施体制	実施期間 令和5年4月1日～令和5年12月31日までの実績 養殖：ワカメ養殖4 t、ホソメコンブ養殖3 t お土産品の開発：3点（化粧水、石鹸、細切りホソメコンブ） これからの商品開発には高校生1名の参画を予定している。 クレジット化：奥尻地区海藻生産・活用調査検討協議会の活動計画として承認され、翌年度1～2月には JBE へ申請を考えている		
	パンフレット制作 		
(3) 効果項目に対する評価（Check）			
効果目標の達成度評価	お土産品の開発については、マーケットインのため、もっと情報収集が必要であった。		
反省点	成功している地域の情報を得ていなかった。		
(4) 取組の改善措置（Action）			
取組内容の改善点	・ 小規模での取り組みとなっている。		
取組の実施に必要なもの	・ 施設の規模拡大が必要。		

ブルーカーボンの取り組み
（クレジット化への推進）

